



2022年3月18日

## 『帯広厚生病院における環境・設備計画と検証』が 「第36回 空気調和・衛生工学会振興賞技術振興賞」を受賞

北海道厚生農業協同組合連合会、株式会社久米設計、北海電気工事株式会社、イオンディライト株式会社、村上公哉（芝浦工業大学）、山川智（東海大学）、田中翔大（長崎総合科学大学）、日本ファシリティ・ソリューション株式会社は、2022年3月18日、「帯広厚生病院における環境・設備計画と検証」において「第36回 空気調和・衛生工学会振興賞技術振興賞」を受賞しました。

### ■取り組みの概要と受賞の背景

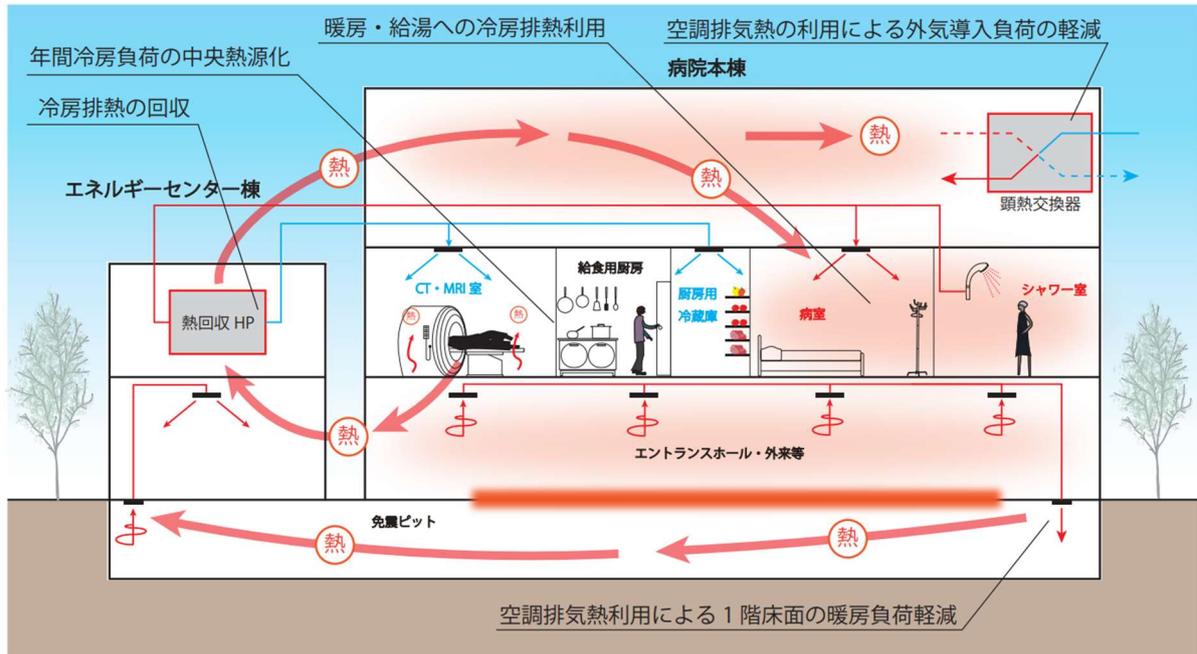
帯広厚生病院は、1945年に開設され、1999年には病床数748の大規模病院に成長し、2018年11月、「高品質な医療」と「医療人の育成」、「環境への配慮」を3本の柱として病院設計や医療機器の整備などが行われ、現在地に病床数651の病院を新築移転しました。設備計画では、寒冷地における省エネルギー病院施設の模範となることを目標として、寒冷地に適応した建築計画・設備計画や、さらに他の地域でも波及・普及が期待される省エネルギー設備、制御システムおよびマネジメントシステムを導入しました。本病院が立地する帯広市は、厳冬期には $-20^{\circ}\text{C}$ を下回る国内でも有数の極寒地域であるため、暖房負荷削減のため空調排気熱を無駄に捨てずに徹底利用することや、熱回収ヒートポンプチャラーを導入し冷房排熱を捨てずに温熱利用しました。また、遠隔監視システムの導入および運転実績データ分析による性能検証と運用改善を実施し、2019年度から2020年度に熱源システム全体の効率を約5.1%向上させ、建物全体のエネルギー消費量を約4%削減することに成功しました。

今後、本事例が数多くの病院の省エネルギー化の一助になれば幸甚に存じます。

以上



施設外観写真



空調排気熱および冷房排熱の利用